



## 二. 里山田んぼの稲刈

九月二二日(月曜日)に立沢里山で、大井沢小学校と松前台小学校の5年生児童130名が参加して、恒例の「田んぼの学校」が開催されました。春に植え黄金色に実った稲を刈り取るのです。

田んぼに入ったグループが、稲を鎌で刈り取ります。刃物を使うので子ども達にとって危険な作業ですが、事故もなくやりとげました。別のグループが、刈り取られた稲を、ワラで結んで束ねま



稲刈り、やったぞー！



す。稲束にワラをクルッと巻き付けて縛り、捻った端を差し込みます。この作業は、里山のボランティアのおとな達にとっても、力のある仕事です。子ども達には大変だったでしょうね。縛りがちよつとユルユルした束もありましたが、無事終えました。さらに別のグループが、束ねた稲を抱えて運び、竹で組んだ竹竿に掛けていきます。稲束を分け抜けて、竹竿に掛

簡単なようですが、竹竿から稲束が滑り落ちないように、バランスよく掛けるのが、少し難しかったかな。ボランティアの人達に助けられながら、やり終えました。子ども達は、「田んぼの学校」で、米作

さ～皆で稲刈り頑張ろう



の様子、守谷市の広報誌「広報もりや」の10月号の表紙と33ページに、写真が掲載されています。ぜひ、ご覧



大きなお芋がゾクゾク



り体験学習しました。稲を乾燥させ、脱穀し、粃すり精米したら白米になります。学校に届けますので、ぜひ食べて下さいね。写真は、集合写真です。大勢いますね。このとき

下さい。

## 三. 子供会など合同収穫祭

十月十八日(土曜日)に、立沢里山でサツマイモの収穫祭が催されました。北守谷地区の二つの子ども会(スマイルシーズ、ひまわり子ども会)と、子ども食堂「もりんくる」と、立沢里山の会、里山ネットなどの協同開催です。子ども会から子ども達約30名、保護者約20名、「もりんくる」から数名、立沢里山の会から約10名が参加しました。まずは、里山の近くにあるサツマイモ畑での芋掘りです。今年は出来が良く、大きなサイズの

里山の食材を美味しく頂きました



サツマイモの大収穫



耳は子供達が稲藁を綯った縄で



サツマイモが、たくさん収穫できました。

里山に戻って、稲ワラで縄を編む方法を、子ども達と保護者に体験してもらいました。

その後に、「もりんくる」さんが準備してくれた芋ご飯と豚汁で昼食です。このときのサツマイモは、1週間前に収穫されたものです。食事は、おいしかったですね。天候も、最高の日和でした。

野で遊ぶ、野に学ぶ、野を食す。里山は、自然の宝箱です。ぜひ立沢里山に遊びに来て下さい。

### 四. 六代目稲わら妖怪「となりのトトロ」登場

十月十八日(日)の収穫祭で子供達に稲藁で沢山の縄を編んでもらいました。昨年と同様にその縄

笑顔で里山を見守る6代目稲藁妖怪「となりのトトロ」



でトトロの耳を制作し取り付けました。

十一月十五日(土)、里山の会では田んぼ関係の作業が終わり、打ち上げバーベキューが現場で行われ、今年収穫した新米のおにぎり、マコモ、サツマイモ等が持ち寄り楽しいイベントになりました。

その際に、トトロ像はほぼ完成したので一緒に記念撮影を行いました。

今回は更に進化して、目が変化して睨んだり笑ったりします。通りかかった際はどちらのバージョンだったか楽しみにしてください。写真はまだ完成していませんが、

今後マコモを刈り取って、その藁で外套を手作りして着せ、寒い冬に備える予定です。

### 五. グリーンインフラ研究講座で渡良瀬遊水池視察旅行

守谷里山ネットを中心として、もりや市民大学市民科学ゼミ自主研究講座において「利根川グリーンインフラ研究会」を実施してきましたが、十二月四日(木)は日帰りバス旅行で渡良瀬遊水池へ先進地視察に行ってきました。

参加者は約20人、9時に市民活動支援センターに集合・出発です。10時45分頃に渡良瀬遊水池体験センターに到着し「渡良瀬アクリメーション振興財団」の方に説明案内をしていただきました。体験センターでビデオ上映と説明、史跡保安地域を中心に現地案内、風が強かったため湖内循環は中止してウォッチングタワーから全景を視察しました。

渡良瀬遊水池の歴史、遊水池の環境管理、自然環境、市

渡良瀬遊水地体験センター



旧谷中村役場跡地



民参加の状況などがよく理解できました。

晴天に恵まれて富士山、赤城山、日光男体山、筑波山など360度がきれいに見渡すことが出来ました。

その後、近くの「渡良瀬の里」に移動して昼食としました。

帰路の、車中で第2調節池の桜並木公園、コウノトリの巣塔などを見学し、「道の駅境」で休憩して夕方5時前に市民活動支援センターに到着しました。

今回の視察に当たっては、国土交通省利根川上流事務所、渡良瀬

アクリメーション振興財団を初め多くの皆さんの力を頂きました。ありがとうございました。

そこで今回は「ミニしめ縄作り」なら何とかそうと工夫してみました。

稲藁は短いほうがいいので刈り取った後の葉(ヒコバエ)を活用することにしました。参加者は42名とのことだったので50束分を刈り取り、袴とり、浸水、タタキ、結束と結構な作業となりましたが、何とか準備できました。

当日は会議室が満杯となる盛況で、多くの人が興味を持ってくださいました。せっかくの機会なので、前半は座学として正月飾りの意味など日本の里山的な伝統文化について。後半は準備した稲藁で実際に縄を編む基本を体験してもらいました。ほとんどの人は初体

験のようでしたが、何とか完成させることが出来ました。中には個性的な出来映えの作品もありましたが、楽しい体験になりました。

【編集後記】

里山新聞は、守谷市内で里山活動に取り組んでいる皆さんからの情報提供が何よりも重要です。

本紙への活動報告、行事の予告など記事をお寄せください。

こちらまで

メール⇒[denen21@ktb.biglobe.ne.jp](mailto:denen21@ktb.biglobe.ne.jp)

六. 市民大学「ミニしめ縄作り」ワークショップ

「市民大学いきいきコース」で十二月十二日(金)正月飾りについての講義とワークショップがあり、里山ネットが講師を務めました。

里山ネットとしては、今までも専門コースを主催するなど係わってきましたが、アウトドア活動が多いので、会議室でのワークショップについては限界がありました。



ワークショップで手作り



七. 守谷ネイチャーライフ写真展

ネイチャーライフによる写真展が開催されます。

市民活動支援センターで一月十三日～二十日

中央公民館ギャラリーで一月二十一日～三〇日

北守谷公館で一月三十一日～二月七日

鳥、動物等の生き物、風景、開花情報・イベントなど守谷の名勝を紹介します。